

## 鉄道とバスの乗継利便性評価手法の改良と評価ツールの開発

鈴木崇正 石突光隆

鉄道をはじめとする公共交通ネットワーク全体の利便性向上には、鉄道と他の交通機関との乗り継ぎの利便性向上が不可欠です。鉄道とバスの乗り継ぎ利便性を検討するために開発した既存の利便性評価モデルは、乗り継ぎ経路の相対評価しか行えないという欠点を有していました。そこで、その欠点を克服するため、モデル構築に用いるデータの妥当性を検証した後、経路ごとに利便性の絶対評価が行える改良型の評価モデルを構築しました。さらに、その知見を用いて様々な歩行環境が評価に与える影響を指標化した上で、その指標を用いて評価対象経路の利便性を視覚的、定量的に把握できるツールを開発しました。本稿では、モ

デルの開発について詳述した後、その知見を活用したツールと、それによる評価の事例について述べます。

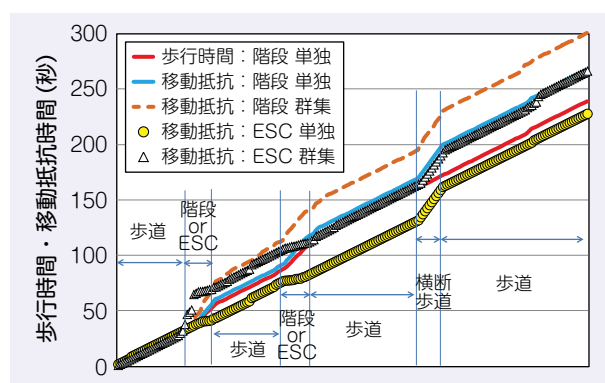


図 移動抵抗計算結果の例